

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 長野県辰野町  
本事業の担当部局名 まちづくり政策課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進						
個別事業名	結婚支援セミナー・イベント事業					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和5年度
総事業費(A)(円)	957,700		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	957,700
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	957,700						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	26,200	20,000	5,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	26,200	20,000	5,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	886,500	20,000	0	0	0	957,700
	対象経費支出予定額	886,500	20,000	0	0	0	957,700
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通 辰野町の令和2年(2020)国勢調査を基とした、こども女性比率(0～4歳人口と15～49歳女性人口比率)は、0.24712で近隣市町村と比べると最も低くなっている。 過年度に引き続き関係機関等との連携を図りながら、結婚を希望する方へのさらなる出会いの場の創出や経済的支援などの充実に努め、総合的な支援ができるよう取り組んでいく。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt; 婚姻件数や婚姻率の低下防止、出会いの場の創出を重点的に行うために、婚活に伴うセミナーやイベントを行うもの。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	体験型婚活イベント・事前スキルアップセミナーの開催	<p>①服装やメイクアップ等事前レクチャーすることでカップルになる確率を上げるスキルアップセミナーの開催。 【参加対象】20後半～30代前半の独身者 【参集人数】男女各5名</p> <p>②気軽に参加でき参加者間の交流を促進する体験型婚活イベントの開催。 【参加対象】20後半～30代前半の独身者 【参集人数】男女各5名</p>				
2	他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法	<p>結婚支援は、広域的な取組がより効果が高めるため、県と市町村の連携により全県的な取組の強化を図っていく。具体的には、以下の方法とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ながの結婚マッチングシステムを通し、市町村は広域的なお見合い支援を実施する。県は、マッチングシステムの運用支援等を通し、市町村をサポートしていく。</li> <li>・セミナー開催については、参加企業・団体の募集には市町村の協力を得る代わりに、交流機会の中で市町村の支援拠点への登録促進と市町村開催イベントへの参加呼び掛け、新システムに関する情報発信を行う。</li> <li>・各市町村は、チャフルながの(県の結婚・妊娠・子育てのポータルサイト)において、各市町村のイベントやセミナーの参加促進に向け、周知広報や開催協力の面で広域連携を図る。</li> <li>・結婚応援パスポートについて、結婚新生活支援事業とあわせて、全市町村の婚姻届窓口等にてパスポートの広報を行う。</li> </ul> <p>【自治体間連携により実施する事業】 長野県:しあわせ信州結婚応援事業(業種間交流の実施、マッチングシステムの運用) (辰野町):結婚相談事業(結婚支援体制の整備、マッチングシステムを活用した結婚支援) 結婚支援セミナー・イベント事業 婚活イベント(出会いのイベントの開催)</p> <p>【自治体間連携により効果的・効率的になる内容】 ・県と市町村間で役割分担をし、連携を密にすることで、県全体の結婚支援体制の強化を図る。 ・市町村単独では、参加範囲やPR効果が限定的なため、新たな広域的な出会いの機会を県が実施することにより、従来の範囲を超えた出会い・交流の場づくりが可能</p>					

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

本事業の開催方法について、毎年年齢幅12歳差の男女を対象にイベントを開催しており、令和6年度は年代別でのイベントを2回開催したが、特に若い層のイベントでの女性の集客率が低いことを踏まえ、対象年齢を5歳幅にし年齢に近い世代との体験型イベントを行い、若い世代を中心に集客を図る。

・本事業の周知方法について、更なる集客を図るため、従来の広報誌に加え、委託先の業者と結婚相談所のSNSに掲載し集客を図る。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		若者世代(20~30代)の婚姻数		件	50 (令和7年度)
	合計特殊出生率		%	1.6 (令和7年度)	1.33 (令和5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
		合計特殊出生率		1.33 (令和5年度)	
		婚姻件数	件	44 (令和5年)	
		婚姻率		2.45 (令和5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	総参加目標人数(事前スキルアップセミナー)	人	10 (令和7年度)	12 (令和6年度)
	②	総参加目標人数	人	10 (令和7年度)	30 (令和6年度)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (令和7年度)	70 (令和5年度)
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					